

令和3年度 自己評価書

学校名

北海道室蘭工業高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び続ける意欲と態度を育てる。
- (2) 豊かな人間性と自主・自律の精神を育てるとともに、望ましい人間関係を構築させる。
- (3) 自己の在り方、生き方を考え、自らを高め、主体的に進路を決定する能力を育てる。
- (4) 自他の生命や人格を尊重し、健康で安全な生活を営む習慣を育てる。

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
学校経営全般	学校運営	学校運営は全教職員間の協働体制のもと、推進されている。	B	B	・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化を醸成する。
		校内研修会の実施が適切に行われている。	B	B	
		職員会議は機能的かつ適正に行われている。	B	B	
		全教職員の共通理解による指導の一貫性は図られている。	C	B	
	関係機関との連携	保護者との日常的な連携が図られている。	B	B	・PTA活動の活性化 ・家庭・地域、関係機関との連携の質の改善
		地域と連携した多様な教育活動の推進が図られている。	B	B	
		スクールカウンセラー、パートナーティーチャー等の人材の活用は積極的に行われている。	A	A	
		本校の教育活動をホームページ・PTA会誌等で家庭・地域に情報発信している。	A	A	
		充実したPTA活動が行われている。	B	B	
	学習指導	学習活動が効率的かつ適正に行われるよう組織が整備されている。	B	B	・わかる授業に向けた授業改善 ・学習者主体の授業の推進 ・授業規律の共通認識を形成
		学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上、転退学・原級留置者の削減等の取組が行われている。	B	B	
		授業の工夫・改善が行われている。	B	B	
教育活動全般	生徒指導	規律ある生活習慣の確立(基本的生活習慣、身だしなみ、授業)の取組が行われている。	C	B	・教育相談の質の充実 ・家庭・地域、関係機関との連携の質的強化
		生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が保たれている。	B	B	
		本校の生徒指導は「学校いじめ防止基本方針」どおりに実行されている。	B	B	
	進路指導	進路意識の高揚を図る取組の推進が行われている。	B	B	・インターンシップの質の充実 ・切れ目のないキャリア教育の推進 ・進路実現のための支援の本質を追求
		望ましい職業観や勤労観及び職業に関する知識や技術を身に付けるようなキャリア教育が行われている。	B	B	
		生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。	B	B	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

再定義されたスクール・ミッション、新たに掲げた学校教育目標を達成するために、全教職員が3つのスクール・ポリシーを意識し教育活動を実践する。